

第59号 発行：甲良町老人クラブ連合会

水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、  
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

今年度、第二回目となつた理事先進地交流研修会は、酷暑の中豪雨に見舞われた八月一日・二日に、飛騨市古川町老人クラブ連合会を訪問して行いました。

飛騨古川は、朝霧がたつ都ともいわれ、幻想的な景色を醸し出すことで有名です。こ

うしたことから、「老人クラブ」に代えて、「朝霧」の名がつかわれ、標記のような名称にしておられます。会員数三四〇〇人、二六の単位クラブで構成されていますが、単位クラブにも老人クラブという名はついていません。

昨年度に、優良老人クラブ連合会として全国老人クラブ表彰を受けておられます。

こうしたことから交流研修地として決定し、事務局に連合会の概要がわかる資料を送付いたとき、理事会で事前研修をして当日に望みました。

飛騨古川は、古くから『婆婆川へ』ともいわれる人情味あふれる人々の町、そして、匠の技が息づく町であるといわれているそうです。

交流研修を終え、雨上がり

映像文化の発達で居ながらにしてどんなことでも目にすることができる世の中ですが、その場にたち、その場に入らなければわからない自分自身の全身で感じるものは、素晴らしい自分の財産となりました。

日本列島は連日の記録的な集中豪雨により各地で大きな被害のつめ跡を残している最中でした。研修前夜も猛烈な雨が降り続き、道中を案じながらも、予定通り飛騨市古川町に研修団二十一名は到着しました。

朝霧の皆さんには、猛暑の中にもかかわらず、スーツ姿の正装で会長様はじめ役員の皆様が玄関先まで出迎えてくださいました。そして、二階の大会議室に案内してくださいました。大会議室正面には、歓迎の横断幕がかけられ、涼しい心地よい空間で、心よりの

今年度、第二回目となつた理事先進地交流研修会は、酷暑の中豪雨に見舞われた八月一日・二日に、飛騨市古川町老人クラブ連合会を訪問して行いました。

飛騨古川は、朝霧がたつ都ともいわれ、幻想的な景色を醸し出すことで有名です。こ

うしたことから、「老人クラブ」に代えて、「朝霧」の名がつかわれ、標記のような名称にしておられます。会員数三四〇〇人、二六の単位クラブで構成されていますが、単位クラブにも老人クラブという名はついていません。

飛騨古川は、古くから『婆婆川へ』ともいわれる人情味あふれる人々の町、そして、匠の技が息づく町であるといわれているそうです。

交流研修を終え、雨上がり

今年度、第二回目となつた理事先進地交流研修会は、酷暑の中豪雨に見舞われた八月一日・二日に、飛騨市古川町老人クラブ連合会を訪問して行いました。

飛騨古川は、朝霧がたつ都ともいわれ、幻想的な景色を醸し出すことで有名です。こ

うしたことから、「老人クラブ」に代えて、「朝霧」の名がつかわれ、標記のような名称にしておられます。会員数三四〇〇人、二六の単位クラブで構成されていますが、単位クラブにも老人クラブという名はついていません。

飛騨古川は、古くから『婆婆川へ』ともいわれる人情味あふれる人々の町、そして、匠の技が息づく町であるといわれているそうです。

交流研修を終え、雨上がり

## 「飛騨市古川町朝霧連合会の取り組みに学ぶ」



### 取り組みに学ぶ

飛騨古川町朝霧連合会研修訪問

## 先進地に学ぶ交流研修会を終えて

甲良町老人クラブ連合会研修部長 安澤邦彦

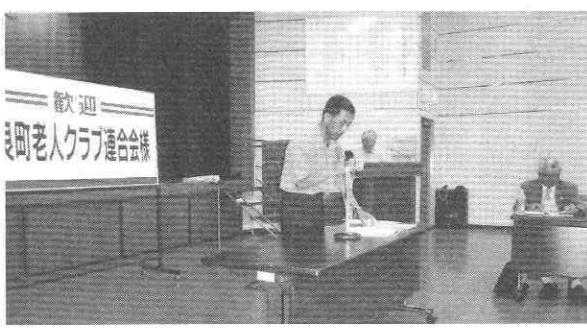
(下之郷老人クラブ第二寿福会会長)

の古川の町並みを散策して、歴史と伝統の重みを重ねて研修にさらに深みと温かさを感じました。

ご参加いただきました理事

(文責 村岸啓司)

様、ご苦労様でした。会員の皆様、あの研修報告をじっくりお読みいただきたいと思います。



歓迎の横断幕の前で説明する池本副会長

この飛騨古川町朝霧連合会は、昨年の全国老人クラブ連合会創設50周年大会で、長年

の優れた活動と入会率の高さに対し、優良連合クラブとして全国連合会長賞の栄誉に浴されています。私たち甲良町は、この交流研修会を通して少しでも多くのことを学びとり、さまざまの課題解決のヒントや新鮮でより魅力ある今後の活動創造のエネルギーにいたく、大きな期待をもつて臨みました。

先方の新井事務局長さんの流暢な司会で始まり、板矢会長さんの歓迎のご挨拶、上野会長のお礼とお願いの挨拶に続き、参加者それぞれが自己紹介をしました。そして、双方が現在の活動状況や課題等々について概要説明を行いました。

それぞれ共に超高齢化・少子高齢化社会を迎えた今、高齢者が、『社会参加を果たし、地域での輪を広げ、互いに支え合いながら楽しく豊かに暮らせる仲間づくりをしていくこと』が、老人クラブの第一義であること、そして、その成果を上げることが組織の強化にもつながる重要な点であるとの認識で一致していましたように感じました。



快適な会場でなごやかに交流会

## をする

③会員が楽しく参加できる活動をし、地域に認知してもらう

④団塊世代の参加を促す魅力ある活動をする

⑤社会奉仕の日の実践をする

⑥このようなことについて、私達の今後の活動に示唆を与えていただきお話を伺い、ご指導いただきました。また、老ク連の活動は昨年までの盛り沢山の行事を少々控え、今年度は単位クラブでの活動に軸足を置いた年間計画に回帰されたようです。このことは、やはり自主自立した単位クラブ活動が基本であり、また、老ク連については、『新しい情報の交換と伝達』『広い範囲での会員交流』などではできない活動』などを推し進めることを大事にしておられます。こうしたこと、両組織が果たしたことは、両組織が果るべきところの棲み分けを保ちつつ、密接に連携していくことが本来の姿であり理想です。

①軽スポーツ等のシニアスポーツの普及を図る

②一人暮らしのお宅を気軽に訪問しておしゃべりの相手をする友愛共助活動

## 単位クラブのあり方について

など、只今幅広くアンケートを実施しているということでした。そうしたことから常に惰性に流されることなく課題を見つけて前進していくとい

う姿勢こそに、朝霧さんが全國表彰される活動の原点があるのだろうと、深い感銘を受けました。今回のアンケート結果は、さぞかし会員のみなさんの思いが凝縮されたものに違いないと思います。結果集約の節には、ぜひとも私達にもご披露いただき、当日の研修に加えてさらに貴重な参考資料とさせていただきたく考えております。

こうしたことによつて私達の連合会や各単位クラブが一步でも二歩でも前に進んでいくことが、誠実に交流会に向き合つていただいた朝霧の方々へのなににもまさるお礼ではないだろうかと考えます。

人生の締めくくりの会ともいえる老人クラブを、会員の皆さん気が持ちを合わせて、楽しく充実したものにしてい

## きたいものです。

研修会の後、うまい具合に雨も上がり、古川の町並みをガイドさんの説明を聞きながら見学しました。この町の端

正で、凛とした佇まいと古川町朝霧さんのご丁寧で周到な対応ぶりとをダブらせながら、想い出に残る散策をさせいただきました。

朝霧連合会や単位クラブさんの今後のますますのご発展と、これを機にさらなる交流の深まり、あわせて会員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げる次第です。

朝霧連合会や単位クラブさんの今後のますますのご発展と、これを機にさらなる交流の深まり、あわせて会員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げる次第です。



古川町の町並み見学

甲良町老人クラブ連合会

## 全国老人クラブ連合会長賞を受賞する

平成二十五年度全国老人クラブ大会が、さる十月一日、岩手県盛岡市で「創造と連帯の輪を広げて、心豊かな二十一世紀を」をメインテーマに開催されました。

滋賀県  
甲良町老人クラブ連合会

### 表彰状

平成二十五年十月一日

貴会は老人多活動の推進に専念努力され、その結果はよってここに記念品を贈り表彰いたします



その大会の式典で、本町連合会が『全国優良老人クラブ連合会』として表彰を受けました。毎年行われているこの大会は、本年度で四十二回という歴史ある大会であります。

県下では、二団体が表彰されました。まず、滋賀県老人会ももたれ、事例発表と活発な討議がなされています。特に今年度は、会場が東北岩手県ということで、『東日本大震災と老人クラブ、全国からの支援に感謝します』をテーマに開催されました。

マと/orする部会も設けられ、老人クラブの会員が、力強く、しかも互いが深く支え合つて活動しておられる姿を見て感動し、元気をいただきました。また、幾多の言葉では言い表せない苦難を乗り越えたことが語られたり、郷土芸能の復興の過程での葛藤を聞かせてくださったときは、目頭が熱く

す。老人クラブや高齢者の今日的一課題に対し、活動交流部会ももたれ、事例発表と活発な討議がなされています。特に今年度は、会場が東北岩手県ということで、『東日本大震災と老人クラブ、全国からの支援に感謝します』をテーマに開催されました。

県下では、二団体が表彰されました。まず、滋賀県老人会ももたれ、事例発表と活発な討議がなされています。特に今年度は、会場が東北岩手県ということで、『東日本大震災と老人クラブ、全国からの支援に感謝します』をテーマに開催されました。

県下では、二団体が表彰されました。まず、滋賀県老人会ももたれ、事例発表と活発な討議がなされています。特に今年度は、会場が東北岩手県ということで、『東日本大震災と老人クラブ、全国からの支援に感謝します』をテーマに開催されました。

集落の単位クラブがそろつて組織していること、その加入率も県下でトップであること、そして、老人クラブがかかる高齢者相互支援や次世代育成事業の展開などの今日的課題に対して、会員のみなさんで取り組み、積極的に向つていることが高く評価されました。これは、先輩の方々が築いてきたが、その保存に立ちあがり老

人クラブが地域のリーダーとなつて復活・復興・再出発されている姿をご披露いただきましたが、演じておられるご高齢の方、また若手青年の方におきましても新規事業を各

場で、宮城・福島県、そして仙台市の老ク連とも協力され、二年前の東日本大震災の支援に対する感謝の気持ちが込められた大会で、活動交流部会や全体会でも、すべてで心温まる、感動することの多い大会でした。

さすが東北で、郷土芸能の素晴らしさもさることながら、その保存に立ちあがり老人クラブが地域のリーダーとなつて復活・復興・再出発されている姿をご披露いただきましたが、演じておられるご高齢の方、また若手青年の方におきましても新規事業を各

部会は、特別部会といつてもよい『東日本大震災と老人クラブ、全国からの支援に感謝します』部会でした。夫、妻、子、孫等、震災・津波で亡くした老人クラブの皆さん、どのよう立ち上がり、どのように活動されているかの報告がありました。発表されている方は目に涙をにじませ、ぐつとこらえてお話をされていることがよくわかり、会場の皆さんも胸が詰まり涙しておられる方がずいぶん多くおられました。

88歳の宮古市田老で被災された田畠さんは、今も津波の語り部として活動されている様子を娘さんのお助けを借りながら、語ってくださいました。

大会のファイナーレは、一六〇〇名の参加者全員で、『花は咲く』を歌いました。コーラス・指揮者の先生はおられますが、皆さん感動を胸に歌わっていました。素晴らしい大会のファイナーレでした。

(文責 上野善久)



## 老人クラブ傷害保険のご案内

### クラブ活動型 〈クラブ活動中とその往復途上でのケガを補償します。〉

年間掛金	500円	1,000円	2,000円			
ケガをした時の状況 補償内容	クラブ活動型 活動中のケガの場合	24時間型 活動中以外のケガの場合	クラブ活動型 活動中のケガの場合	24時間型 活動中以外のケガの場合	クラブ活動型 活動中のケガの場合	24時間型 活動中以外のケガの場合
死亡保険金	50万円		100万円		200万円	
後遺障害保険金	50万円	補償なし	100万円	補償なし	200万円	補償なし
入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	1,000円		2,000円		4,000円	
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円		1,300円		2,600円	

■ クラブ活動中のケガの場合は、 青色 のみの補償額が支払われます。クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

### 総合型 〈クラブ活動中以外の日常生活全般(24時間)のケガも補償します。〉

年間掛金	3,500円	5,000円	10,000円			
ケガをした時の状況 補償内容	クラブ活動型 活動中のケガの場合	24時間型 活動中以外のケガの場合	クラブ活動型 活動中のケガの場合	24時間型 活動中以外のケガの場合	クラブ活動型 活動中のケガの場合	24時間型 活動中以外のケガの場合
死亡保険金	50万円 165万円	115万円 —	100万円 243.5万円	143.5万円 —	200万円 487万円	287万円 —
後遺障害保険金	50万円 50万円	— 100万円	— 100万円	— 100万円	200万円 200万円	— 200万円
入院保険金日額 (1事故につき30日限度)	1,000円 1,750万円	750円 1,750万円	2,000円 2,950万円	950円 2,950万円	4,000円 5,900万円	1,900円 5,900万円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	650円 1,150万円	500円 1,150万円	1,300円 2,000万円	700円 2,000万円	2,600円 4,000万円	1,400円 4,000万円

■ クラブ活動中のケガの場合は、 青色 のみの補償額が支払われます。クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

■ クラブ活動中以外のケガの場合は、 オレンジ色 のみの補償額が支払われます。

※「総合型」の掛金は、職種級別 A (無職、事務職等)の方を対象にしたもので、職種級別 B (農林業作業者等)の方は、補償額が変更になりますので、詳しくましては、取扱代理店もしくは引受保険会社までお問い合わせください。

後編集	
（編集委員）	諸般の都合により、本号の発行が遅れましたことをお詫びいたします。 酷暑から連続して大型台風の襲来、各地に甚大な被害をもたらし、多くの尊い命が失われました。亡くなられた方のご冥福をお祈りし、被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。 さて、今号は、先進地交流研修会の報告と全国老人クラブ大会での表彰について特集しました。安澤研修部長様が、交流研修会の内容をその場の状況までわかるように詳しく、しかも課題や今後の方向性や展望も含めてまとめていただきました。その後の理事会で研修のまとめをする時間が十分にとれていませんが、この記事をもとにさらに成果と課題を皆さんで考えたいと思います。 また、全国表彰をいただいたこの時に、私達の連合会や単位クラブの成果や課題、これからこの展望について考える機会にしたいと思います。 町づくりをしていくために、高齢者としての役割を考え、老人クラブの組織と力を發揮して活動していきたいと思います。